

個人投資家向け情報提供

1. 評価対象企業（31 社）

積水ハウス、アスクル、味の素、J．フロント リテリング、三越伊勢丹ホールディングス、旭化成、T I S、日産化学、三井化学、スパイダープラス、野村総合研究所、中外製薬、第一三共、オリエンタルランド、富士フイルムホールディングス、出光興産、日本製鉄、U A C J、小松製作所、荏原製作所、セガサミーホールディングス、コンコルディア・フィナンシャルグループ、本田技研工業、三井物産、日本瓦斯、三井住友フィナンシャルグループ、東京海上ホールディングス、三井不動産、川崎汽船、九州旅客鉄道、ソフトバンク

（証券コード協議会銘柄コード順）

2. 評価方法等

(1) 評価対象企業の選定

優良企業選定の評価対象企業は、本年度のディスクロージャー優良企業選定対象である各業種（18 業種）および新興市場銘柄についての評価結果において、各業種等の上位 1 割（評価対象企業の数 を 10 で割った数（小数点第 1 位を切上げ））のうち、2023 年 7 月から 2024 年 6 月までの間において、個人投資家向け会社説明会を開催した 31 社とした。

(2) 評価分野の構成

評価分野	本文中の略称	評価項目(注 1)数	配点
①個人投資家向け会社説明会の開催等	個人投資家向け会社説明会	5	19
②ウェブサイトにおける開示等	ウェブサイト	9	61
③事業報告書等（注 2）の内容	事業報告書等	3	20
		17	100

（注 1）具体的な評価項目の内容および配点は後掲。

（注 2）直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、わかりやすい解説を行っている IR 関連資料（事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提示されたいずれか 1 種類。

(3) 評価方法

評価項目（17 項目）のうち、個人投資家向け会社説明会の開催の有無等 6 項目についての評価は、各評価対象企業にアンケート調査を実施し、その回答結果を基に評点を付した。残りの 11 項目の評価は、ディスクロージャー研究会「個人投資家向け情報提供専門部会」の委員（14 名）が行い、最終評価は両者の評点を合算して行った。

3. 評価結果

(1) 総括（「個人投資家向け情報提供における評価比較総括表」は後掲）

本年度の評価対象企業は、上記 2. (1) のとおりに選定しており、昨年度から相当程度入れ替わっている。また、本年度において、項目内容・配点の一部を見直している。このため、昨年度（評価対象企業 28 社）と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は 80.3 点（昨年度 78.2 点）となった。その内訳は、評価点 80 点台が

21 社（昨年度 15 社）、70 点台が 8 社（昨年度 9 社）、70 点未満 2 社（昨年度 4 社）となった。

3 つの評価分野の平均得点率（評価対象企業の平均点／配点（以下省略））を見ると、**個人投資家向け会社説明会**が 79%（昨年度 76%）、**ウェブサイト**が 80%（昨年度 79%）、**事業報告書等**が 81%（昨年度 79%）となり、全ての評価分野で昨年度を上回った。

(2) 評価対象企業に対するアンケート結果を基にした評価

- ① 評価対象企業へのアンケート結果を基に評価した 6 項目について見ると、**個人投資家向け会社説明会**に関しては、昨年 7 月から本年 6 月までの 1 年間の平均開催回数は、3.3 回（昨年度 3.0 回）であり、経営トップが説明を行っている企業は、対象企業 31 社中 13 社（42%）で、その割合は昨年度（46%）を下回った。
- ② 個人投資家向け会社説明会の内容をウェブサイトに掲載している企業は 30 社（97%）で、その割合は昨年度（89%）を上回った。30 社のうち、配布資料に加え動画または音声配信により視聴できる企業は 29 社（97%）で、その割合は昨年度（92%）を上回った。
- ③ 資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示している企業は 31 社（100%）であった（今年度からのアンケート項目）。
- ④ 「各種説明会（個人投資家向け説明会を除く）の内容は、ウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できること」については、視聴できる企業が 28 社（90%）で、その割合は昨年度（86%）を上回った。

(3) 専門部会委員による評価

専門部会委員は、ウェブサイト等における開示内容が一般投資家に理解できるように具体的にわかりやすく説明、記載されているか、また、利用しやすいように工夫がされているかといった観点から、11 項目について評価を実施した。

【個人投資家向け会社説明会】

- (a) 「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか」（平均得点率 76%〔昨年度 75%〕）（参考）個人投資家向け会社説明会の内容がウェブサイトに掲載されている企業（30 社）のみの平均得点率 78%〔昨年度 81%〕

【ウェブサイト】

- (b) 「IR に関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつわかりやすく工夫されていますか」（平均得点率 85%〔昨年度 83%〕）
- (c) 「個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ、わかりやすく工夫されていますか。また、IR 情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか」（平均得点率 79%〔昨年度 78%〕）
- (d) 「事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 82%〔昨年度 81%〕）
- (e) 「ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）について」
 - A 「業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 80%〔昨年度 78%〕）
 - B 「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的にかつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 81%〔昨年度 80%〕）
 - C 「ESG（人的資本、人権を含む）について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。」（平均得点率 78%〔昨年度同率〕）

- (f) 「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答 (FAQ) は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等、全体的に充実し、わかりやすいですか」(平均得点率 67%〔昨年度 66%〕)

【事業報告書等】

- (g) 「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ、理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか」(平均得点率 84%〔昨年度 81%〕)
- (h) 「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG に関する情報も含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。」(平均得点率 81%〔昨年度 78%〕)
- (i) 「業績の動きがわかりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていますか」(平均得点率 80%〔昨年度 77%〕)

(4) 上位3企業の評価概要

第1位 味の素 (ディスクロージャー優良企業〔4回連続4回目〕、総合評価点 88.8 点〔昨年度比+4.5 点〕)

- ① 同社は、3分野全てにおいて第1位となった。具体的には、**個人投資家向け会社説明会** (得点率 (以下省略) 96%)、**ウェブサイト** (87%)、**事業報告書等** (ASV レポート (統合報告書)) (89%) となった。
- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目 (全4項目) 全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく (一般投資家に理解できるように)、かつ充実していること」が、トップと僅差の同得点第2位となり、この分野で第1位となった。これに関連して、戦略が明快に書かれており納得感があるとの声が寄せられたほか、情報量が適切であり、また、情報を整理してわかりやすく伝える工夫が見て取れたとの声もあった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「IR に関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていること」、および「経営目標・経営戦略が、会社の強み (業界シェアや他社との差別化等を含む) や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく (一般投資家に理解できるように) 説明されていること」が同得点第1位となった。これらに関連して、項目が充実しており、全体像は「3分早わかり味の素グループ」で簡潔に説明との声があった。また、ASV (成長戦略) のロードマップが経済指標 (ROE 等) から社会価値指標 (環境負荷軽減) まで非常に具体的との声が寄せられた。
- ④ **事業報告書等**においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」、および「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG に関する情報も含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」が、同得点第1位となった。これに関連して、「2030年にこうなる」というビジョンを掲げ、それに向けての注力領域や経営指標などが具体的に言及されていて非常にわかりやすいことを評価する声が寄せられた。

第2位 日本製鉄 (ディスクロージャー優良企業〔2回目〕、総合評価点 87.0 点)

- ① 同社は、**個人投資家向け会社説明会**が同得点第2位 (93%)、**ウェブサイト**が第3位 (86%)、**事業報告書等** (「統合報告書 2023」) が第8位 (86%) となった。
- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目 (全4項目) 全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく (一般投資家に理解できるように)、かつ充実していること」(同得点第8位) が 85%以上の得点率となり、この分野で同得点第2位となった。これらに関連して、ビジネスモデル、外部環境、経営戦略の説明が充実していて理解しやすいとの声や、製造工程を図表を使い詳しく解説している点はこだわりを感じられたとの声もあった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「ESG (人的資本、人権を含む) について、具体的にわかりやすく (一般投資家に理解できるように) 説明されていること」が第2位となり、同項目を含む「ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料 (個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む)」(3項目) は最も高い評価となり、この分野で第3位となった。これらに関連して、一般には理解しにくい製鉄事業の業績ドライバーがわかりやすく説明されていたとの声やセグメント毎のそれぞれの事業において価値創造プロセスが明確でわかりやすいとの声が寄せられた。

- ④ **事業報告書等**においては、「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG に関する情報も含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」が同得点第 7 位となった。これに関連して、ESG を経営の中心に据え、具体的に説明できており、情報量も豊富との声があった。一方、「業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていること」は第 11 位となった。これに関連して、業績推移について、図表で示されるとなお良いとの声があった。

第 3 位 東京海上ホールディングス（ディスクロージャー優良企業〔2 回目〕

総合評価点 86.5 点〔昨年度比＋1.8 点〕

- ① 同社は、**個人投資家向け会社説明会**が同得点第 2 位（93%）、**ウェブサイト**が同得点第 11 位（84%）、**事業報告書等**（「2023 統合レポート」）が第 3 位（88%）となった。
- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全 4 項目）全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していること」（同得点第 8 位）が 85%以上の得点率となり、この分野で同得点第 2 位となった。これらに関連して、「基本戦略」「重点戦略」に関する情報が豊富かつ具体的との声が寄せられた。また、説明が詳細かつ、ダイジェスト版の動画があることを評価する声もあった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ、わかりやすく工夫されていますか。また、IR 情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること」が同得点第 5 位に、「ESG（人的資本、人権を含む）について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること」が第 3 位となった。これらに関連して、人的資本に関する戦略と指標・データがまとめられている点についてわかりやすいことを評価する声が寄せられた。
- ④ **事業報告書等**においては、「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG に関する情報も含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」が同得点第 1 位となり、この分野で第 3 位となった。これに関連して、過去の中期計画から、現在の進捗状況、今後の展開を丁寧に言及していることや経営の振り返りを具体的に行っている点を評価する声が寄せられた。

上記の味の素、日本製鉄、東京海上ホールディングスの 3 社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、これら 3 社を本年度の個人投資家向け情報提供における優良企業として選定した。

以 上

2024年度 個人投資家向け情報提供における評価比較総括表

(単位:点)

順位	評価項目 評価対象企業	総合評価 (100点)	1. 個人投資家向け会社説明会 の開催等		2. ウェブサイトにおける 開示等		3. 事業報告書等の内容	
			(配点 19点)		(配点 61点)		(配点 20点)	
			評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1	2802 味の素	88.8	18.2	1	52.9	1	17.7	1
2	5401 日本製鉄	87.0	17.6	2	52.3	3	17.1	8
3	8766 東京海上ホールディングス	86.5	17.6	2	51.3	11	17.6	3
	評価対象企業(31社) 評価平均点	80.32	15.05		49.02		16.25	

経営方針、中・長期経営ビジョン
や業績動向の説明の分かりやす
さ等3項目

個人投資家向けサイトの有無
や、事業内容、各種説明会資
料の分かりやすさ等9項目

開催回数、社長等代表役員
の説明の有無等5項目

2024年度評価項目および配点（個人投資家向け情報提供）

【評価期間：2023年7月～2024年6月】

1. 個人投資家向け会社説明会の開催等（19点）	配点
(1)過去1年間（前年7月から本年6月までの間）に個人投資家向け会社説明会を何回開催していますか。 [A.2回以上：2点、B.1回:1点]	2
(2)個人投資家向け会社説明会は、リアル（対面）形式と、オンライン形式の両方で行っていますか。 [A.両方で行った：1点、B.リアル（対面）形式のみ：0点、オンライン形式のみ：0点]	1
(3)個人投資家向け会社説明会は、経営トップが説明を行いましたか。 [A.経営トップが行った：2点、B.経営トップ以外が行った：1点]	2
(4)個人投資家向け会社説明会の内容は、ウェブサイトに掲載されて閲覧できますか。 [A.配布資料に加え動画または音声で視聴できる：4点、B.配布資料の掲載のみ：2点、C.掲載なし：0点]	4
(5)ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか。 【個人投資家向け会社説明会に限定して評価】 [1点～10点の整数で評価。掲載なし：0点]	10
2. ウェブサイトにおける開示等（61点）	配点
(1)IRに関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていますか。 [1点～4点の整数で評価]	4
(2)個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ、わかりやすく工夫されていますか。また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか。 [1点～8点の整数で評価。個人投資家向けサイトがない場合：0点]	8
(3)事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(4)資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示していますか。 [A.開示している：2点、B.開示していない：0点] （開示している場合には、当該開示資料のURL等を添付してください。）	2
(5)ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）について	
A 業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
B 経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
C ESG（人的資本、人権を含む）について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(6)各種説明会（個人投資家向け会社説明会を除く）の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できますか。 [A.できる：2点、B.できない：0点]	2
(7)ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答（FAQ）は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、わかりやすいですか。 [1点～5点の整数で評価。FAQの掲載がない場合：0点]	5
3. 事業報告書等の内容（注）（20点）	配点
(1)全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか。 [1点～5点の整数で評価]	5
(2)経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESGに関する情報も含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(3)業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていますか。 [1点～5点の整数で評価]	5

網掛けの項目は、評価対象企業へのアンケート結果をもとに評点

（注）直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、わかりやすい解説を行っているIR関連資料（事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提供のあったいずれか一種類を評価対象とする。

個人投資家向け情報提供専門部会委員

部 会 長	東 英憲	野村證券
部会長代理	宇田川 克己	いちよし証券
	岩崎 利昭	水戸証券
	大坂 隼矢	野村證券
	小松崎 直樹	丸三証券
	澤田 遼太郎	東海東京インテリジ [®] ェンス・ラボ [®]
	柴田 光浩	大和証券
	嶋田 和昭	岩井コスモ証券
	鈴木 英之	SBI 証券
	高取 千誉	大和証券
	高山 裕介	SMBC 日興証券
	二宮 雅之	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
	降幡 剣士	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
	山本 信一	岡三証券